

# グループ中期経営計画（2013～2015年度） 2015年3月期 進捗報告

代表取締役社長 柳川 徹  
2015年5月



## 目次

### 中期経営計画(2013～2015年度) 2015年3月期 進捗報告

1. 中期経営計画の概要（ビジョン・方針、業績目標等）	P3～5
2. 2015年3月期（連結実績等）	P6～7
3. 機械・プラント事業（中期経営計画と実績の対比、重点施策の進捗）	P8～9
4. 物流システム事業（中期経営計画と実績の対比、重点施策の進捗）	P10～11
5. 利益配分の基本方針と予定	P12
6. 自己株式取得状況と活用方針	P13
7. 連結業績目標の上方修正	P14～16

# 1-1. 中期経営計画の概要 ビジョン・方針

当社グループは、2013年5月、グループ経営ビジョンを達成するため重点方針3項目を設定した上で、2013年度を初年度とするグループ中期経営計画(2013年度～2015年度)を策定いたしました。

## グループ経営ビジョン

安定した収益体質を有する企業グループの確立

## グループ経営方針

顧客の信頼を基本として、  
安定した受注・売上・利益の確保

1. 新設・メンテナンス両分野の営業力・提案力の強化
2. 人材力・技術力の向上と信頼性の高い製品・サービスの提供
3. 協業等の推進による機能の強化と総合力の向上

3

# 1-2. 中期経営計画の概要 連結業績目標

本計画の連結業績目標は、**本計画期間(2013～2015年度)3カ年平均値**をもって設定しており、初年度(2013年度)の業績動向等を踏まえ、昨年5月に目標を上方修正いたしました。

## 連結業績目標

(単位:億円)

	本計画前 2011～2012年度 2カ年平均値 (実績)	2013年5月発表 本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (当初計画)	2014年5月発表 本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (修正計画)
売上高	431	440	470
営業利益	18.7	23.0	31.0
営業利益率	4.3%	5.2%	6.6%
経常利益	20.9	25.0	34.0
当期純利益	11.2	15.0	22.0

4

# 1-3. 中期経営計画の概要 セグメント別業績目標

## セグメント別業績目標

(単位:億円)

		本計画前 2011~2012年度 2カ年平均値 (実績)	2013年5月発表 本計画期間 2013~2015年度 3カ年平均値 (当初計画)	2014年5月発表 本計画期間 2013~2015年度 3カ年平均値 (修正計画)
機械・プラント 事業	売上高	238	220	250
	営業利益	18.6	15.0	18.0
	営業利益率	7.8%	6.8%	7.2%
物流システム 事業	売上高	133	150	150
	営業利益	▲2.5	6.0	8.0
	営業利益率	—	4.0%	5.3%

5

Copyright © 2015 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

## 2-1. 2015年3月期 連結実績

売上高は前年同期比大幅に増加しましたが、営業利益は好採算案件の減少や経費増加要因もあり減益となりました。但し、過去最高益であった前期に及ばないものの、高収益を維持しております。

### 2015年3月期 連結実績

(単位:億円)

	前年同期比			2014~2015年 3月期の平均値 (①と②の平均値) ③	本計画比	
	2014年3月期 ①	2015年3月期 ②	差額 (②-①)		計画値 ※ ④	差額 (③-④)
売上高	484	525	+41	504	470	+34
営業利益	43.4	35.9	▲7.5	39.7	31.0	+8.7
営業利益率	9.0%	6.8%	▲2.2pt	7.9%	6.6%	+1.3pt
経常利益	47.8	38.9	▲8.9	43.3	34.0	+9.3
当期純利益	28.8	30.2	+1.4	29.5	22.0	+7.5

※計画値は、本計画期間(2013~2015年度)3カ年平均値をもって設定しております。

6

Copyright © 2015 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

## 2-2. 2015年3月期 セグメント別実績

### 2015年3月期 セグメント別実績

(単位:億円)

		前年同期比			2014~2015年 3月期の平均値 (①と②の平均値) ③	本計画比	
		2014年3月期 ①	2015年3月期 ②	差額 (②-①)		修正計画値 ※ ④	差額 (③-④)
売上高	機械・プラント事業	269	294	+25	282	250	+32
	物流システム事業	152	157	+5	154	150	+4
	その他	63	73	+10	68	70	▲2
	合計	484	524	+40	504	470	+34
営業利益	機械・プラント事業	26.7	27.9	+1.2	27.3	18.0	+9.3
	物流システム事業	11.5	4.0	▲7.5	7.8	8.0	▲0.2
	その他	7.7	8.0	+0.3	7.8	7.6	+0.2
	調整額	▲2.5	▲4.0	▲1.5	▲3.3	▲2.6	▲0.7
	合計	43.4	35.9	▲7.5	39.7	31.0	+8.7

※計画値は、本計画期間(2013~2015年度)3カ年平均値をもって設定しております。

7

Copyright © 2015 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

## 3-1. 機械・プラント事業 (中期経営計画と実績の対比)

既受注の国内補修工事や海外の大型LNGタンク新設工事が順調に進捗したことから、売上高・営業利益とも修正計画を大幅に上回ることができました。

### 機械・プラント事業 (中期経営計画と実績の対比)

(単位:億円)

	本計画期間 2013~2015年度 3カ年平均値 (修正計画) ①	2014年3月期 (実績) ②	2015年3月期 (実績) ③	2014~2015年 3月期の平均値 (②と③の平均値) ④	本計画期間 2013~2015年度 3カ年平均値 (修正計画対比) ④-①
売上高	250	269	294	282	+32
営業利益	18.0	26.7	27.9	27.3	+9.3
営業利益率	7.2%	9.9%	9.5%	9.7%	+2.5pt

8

Copyright © 2015 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

## 3-2. 機械・プラント事業（重点施策の進捗）

原油価格の低迷による受注環境の急速な悪化に対応し、営業戦略の見直しやコスト競争力の強化に資する重点施策を推進し、競争を勝ち抜く体制づくりに邁進しています。

### ■ 営業力の強化と受注スキームの最適化

- ・原油価格の低迷によるプラント計画具体化の遅れや市場価格低下に対応した営業戦略の見直し
- ・タンクの補修・改造計画に対する提案型営業の強化

### ■ 品質・コスト・納期管理の更なる進化

- ・プロジェクト・リスクの回避・早期対策とスケジュール管理の強化
- ・調達品のQCD向上に向けた業務改善活動への注力

### ■ 現場教育と技術・技能の承継によるプロ人材の早期育成

- ・現場力Upに向けた技術の棚卸しとチェックリストの整備による実践力の強化と技術・技能の継承

### ■ コスト競争力の強化に資する設計・加工・工法の開発

- ・LNGタンク工期の大幅短縮工法の開発
- ・遠隔自動操作など、次世代自動溶接技術の開発
- ・来たるべき水素社会に向けた大容量液化水素貯槽の開発

### ■ 協業等を活用した営業・技術・生産・施工機能の補完・強化

- ・国内外におけるM&A、パートナーリングの推進

安定収益の確保に向け、競争激化への対応策を着実に推進

## 4-1. 物流システム事業（中期経営計画と実績の対比）

好採算案件の減少や新工場立ち上げに伴う経費増加により前年同期比では営業減益となりましたが、修正計画対比では売上高・営業利益ともほぼ計画水準を維持することができました。

### 物流システム事業（中期経営計画と実績の対比）

（単位：億円）

	本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (修正計画) ①	2014年3月期 (実績) ②	2015年3月期 (実績) ③	2014～2015年 3月期の平均値 (②と③の平均値) ④	本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (修正計画対比) ④－①
売上高	150	152	157	154	+4
営業利益	8.0	11.5	4.0	7.8	▲0.2
営業利益率	5.3%	7.6%	2.6%	5.0%	▲0.3pt

## 4-2. 物流システム事業（重点施策の進捗）

物流システム事業内の会社再編や主力工場の設備刷新、魅力ある製品の開発など、事業基盤の強化に資する施策を集中的に展開し、「やり切る」を合言葉に全社一丸となって取り組んでいます。

### ■ メンテナンス子会社との一体経営

・2015年4月1日をもって、物流システム事業内の会社再編(合併)を実行、ソリューション提案からメンテナンスに至るバリューチェーンを構築。

### ■ 成長市場を見据えた戦略的技術開発

・ケース自動保管システム(マルチシャトル)のバージョンアップ、ピッキング・ソータシステムの機能向上、ロボット技術を応用した自動化機器の開発を推進。

### ■ 成長市場をターゲットとした提案力の強化

・ネット通販・ネットスーパーへのマルチシャトル導入提案に注力するとともに、新ソリューション提案や広報・販促活動など、製品・サービスの訴求力を強化。

### ■ 協業等を活用した営業活動の推進・強化

・豊田自動織機殿との業務提携契約締結(2014年1月)をはじめとする協業先との関係強化や共同提案活動に注力。

### ■ 設計・生産調達改革とプロジェクト対応力の向上

・和歌山工場の生産設備を刷新し、生産性の飛躍的な向上を図るとともに、それを実現するために設計から購買、製造に至る業務プロセスの改革を推進。

### ■ 成長を支える人材力の底上げと技術・スキルの向上

・基礎技術・応用技術の向上研修、技術士等有資格者の増強、及びOJTの強化による実践力の向上に取り組む。

安定的に黒字を生み出す事業構造の定着を目指す

11

## 5. 利益配分の基本方針と予定

当社では、安定配当と自己株式の弾力的な取得を利益配分の基本方針としており、2015年3月期の期末配当は1株あたり4円とし、併せて自己株式を10億円取得する予定です。

### 利益配分の方針と予定

	本計画期間(2013~2015年度)の利益配分の方針
配当	安定配当を基本とし、単年度業績だけでなく、中期的な業績見通しや財務状況等を総合的に勘案の上、決定する方針。

自己株式	中長期的な株主還元策として、財務状況等を勘案の上、弾力的に取得する方針。
------	--------------------------------------

	2015年3月期(予定)
1株あたり配当額	4円
配当性向	15.3%

取得上限	430万株または10億円
株主還元性向 注)	48.4%

注) 株主還元性向=(配当総額+自己株式取得上限額)÷当期純利益

12

## 6. 自己株式取得状況と活用方針

前ページ記載の自己株式の取得が予定どおり実行されますと、自己株式保有残高は、約2,800万株、簿価約60億円となりますが、これらは企業買収など成長投資の原資の一部に充当する予定です。

### 自己株式取得状況

	2015年3月期 (実績)	2015年5月13日 取締役会決議の内容	左記完了後 ※予定通りであった場合
自己株式保有数	2,370万株	430万株 (上限)	2,800万株
発行済株式総数に占める 自己株式の割合	17.1%	—	20.2%
簿 価	49.6億円	10億円 (上限)	59.6億円

### 自己株式(金庫株)の活用方針

主力事業の強化及び新規事業等のための企業買収など、成長投資の原資の一部に充当予定

- ・機械・プラント事業： 国内外のタンク関連企業、タンク付帯設備関連企業、施工技術関連企業など
- ・物流システム事業： 物流制御・情報関連企業、自動化技術保有企業、東南アジアの現地物流設備企業など
- ・新規事業： 機械・プラント、物流システム両事業に次ぐ第3のコア事業創出に向けた企業買収など

## 7-1. 連結業績目標の上方修正

本計画における現在までの業績動向及び最終年度(2015年度)の見通しを踏まえ、連結業績目標を以下のとおり上方修正いたします。

### 連結業績目標の上方修正

**修正後の目標：本計画期間(2013～2015年度)3カ年平均値 営業利益 33.6億円**

(単位：億円)

	本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (当初計画)	本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (前回の修正計画)	本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (今回の修正計画)
売上高	440	470	492
営業利益	23.0	31.0	33.6
営業利益率	5.2%	6.6%	6.8%
経常利益	25.0	34.0	36.9
当期純利益	15.0	22.0	25.4

## 7-2. 連結業績目標の上方修正（セグメント別）

連結業績目標の上方修正後のセグメント別目標は、以下のとおりです。

連結業績目標の上方修正（セグメント別）

（単位：億円）

		本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (当初計画)	本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (前回の修正計画)	本計画期間 2013～2015年度 3カ年平均値 (今回の修正計画)
機械・プラント 事業	売上高	220	250	264
	営業利益	15.0	18.0	21.6
	営業利益率	6.8%	7.2%	8.2%
物流システム 事業	売上高	150	150	修正なし
	営業利益	6.0	8.0	
	営業利益率	4.0%	5.3%	

15

Copyright © 2015 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

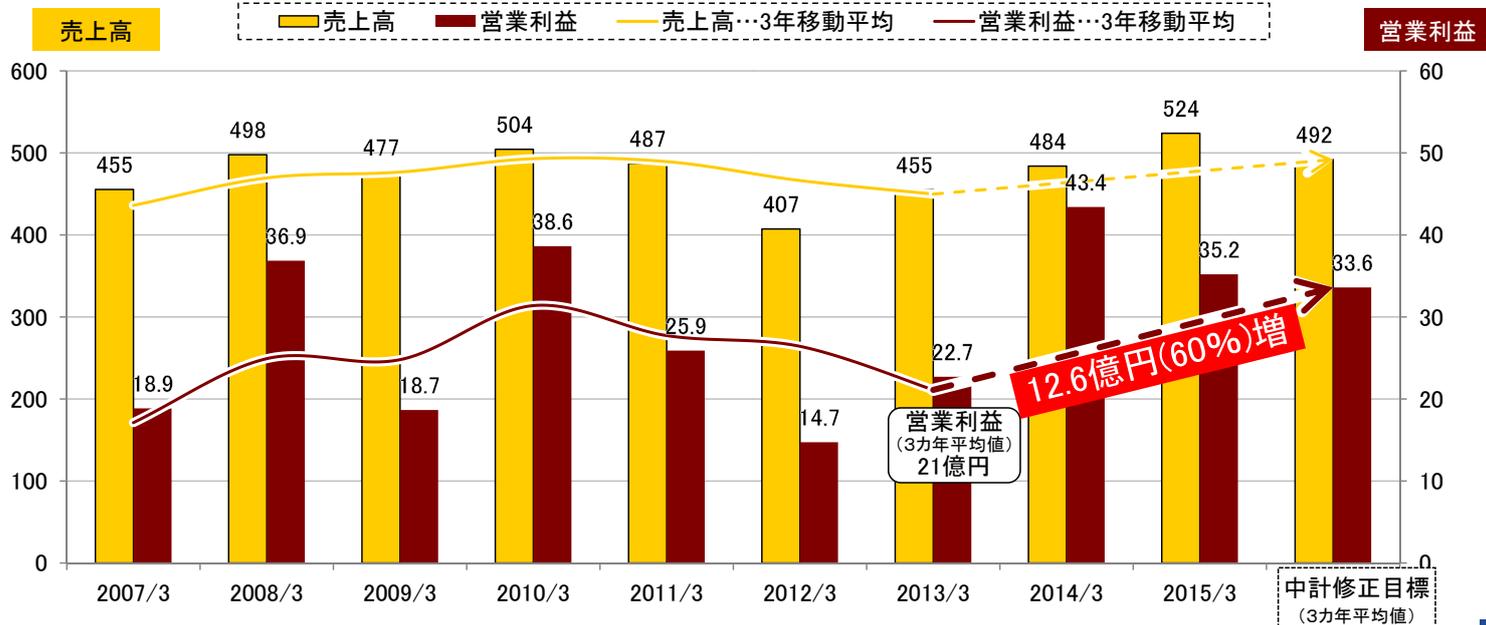
トヨカネツ 株式会社

## 7-3. 連結業績の推移

連結業績目標の上方修正により、営業利益は本計画前(2010～2012年度)3カ年平均値 21億円から、本計画(2013～2015年度)3カ年平均値 33.6億円と、12.6億円(60%)増の計画となります。

連結業績の推移（単年度、3年移動平均）

（単位：億円）



16

Copyright © 2015 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

# お問い合わせ先

## お問い合わせ先

トヨタカネツ株式会社 管理本部 経営管理部  
TEL:03-5857-3333 FAX:03-5857-3170

本資料に記載されている計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、  
種々の前提に基づき策定したものであり、将来の業績等を保証するものではなく、  
今後様々な要因により変動する可能性があります。